

みるトレ リウマチ・膠原病

松村正巳(著)

地域医療機能推進機構(JCHO)本部顧問

徳田安春

爪と指の微細な点状の病変や隆起が まるで3Dのようにみえる

これだけの美しい爪と指の病変写真集はかつてない

好評の『みるトレ』シリーズの1つ、リウマチ・膠原病編。しかし、この領域のアトラス集によくあるSLE(全身性エリテマトーデス)の蝶形紅斑などの写真集がまた出た、ということではない。この本は『リウマチ・膠原病の指と爪』というタイトルにしてもよいくらい、これでもかこれでもかというほど爪と指の所見が出てくる。しかも超高画質で高倍率。これだけの美しい爪と指の病変写真集はかつてなかった。微細な点状の病変や隆起がまるで3Dのようにみえる。

コモンな爪や指の所見でも、これまで教科書であまり取り上げられてこなかったものも多く含まれている。試しにクイズを、下記の所見について述べよ。

1. 半々爪 Half-and-half nail(Lindsay' nail)
2. ボー線(溝) Beau's lines
3. ミーズ線 Mees' line
4. ミュルケ線 Muehrcke's lines
5. 爪甲色素線条 Longitudinal melanonychia
6. 爪甲鉤彎症 Onychogryphosis
7. 赤い爪半月
8. 爪消失
9. 溝渠状中央爪異栄養症 Dystrophia unguium mediana canaliformis
10. Reil 線

上記のうち、半分以上知っているという医師は爪専門家であろう。これらの所見はしかし、入院患者や外来患者でコモンに認められるものであり、現場の指導医ならベッドサイドティーチングで担当研修医から聞かれる可能性がある。「先生！ この患者さんの爪を診てください」と言われて、スパッと答えることができるためには、本

書を読むほかはないであろう。あるいは、研修医や医学生がすでにこの本を読んでいたら……。

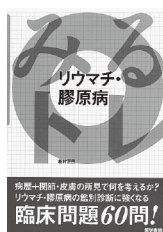
まず手を診察せよ

膠原病ではとくに疾患特異抗体が話題になり検査に走る傾向があるなかで、手をまず診察して身体所見を大事にする本書の趣旨に賛同する。Charcot-Marie-Tooth 病での下腿の逆シャンペンボトル様変化や凹足なども含まれており、総合診療の場面でも役に立つ。牧師の祝福の手(Hand of benediction)・ジャクー関節症(Jaccoud's arthropathy)などの「視診ですぐにわかる診断」は、プライマリケア領域では必須の知識であろう。

本書にはオスラー先生が登場し、観察能力が臨床で最も重要なスキルである、と説く。ケースの解説には、ローレンス・M・ティアニー Jr 先生のパールがちりばめられており、明日からの診療に即役立つ工夫が施されている。コラムでは、ルノアールなどの芸術家も取り上げられ、臨床医学とアートの類似性が理解できる。

スマホがかなり普及したため、ゲーム中毒や睡眠障害などの合併症が問題となるなか、本書が示唆した良い面もある。現場の臨床医もみな自分版「みるトレ」コレクションを作ることができるだろうということ。

さて、スマホを白衣のポケットに、そして本書を脇に抱えて、ベッドサイドへ行こう！



●B5/頁172/2015 年
定価：本体3,800 円＋税
[ISBN978-4-260-02050-3]
医学書院 刊